

wxPrintPreview

このクラスのオブジェクトは、印刷プレビュー処理を管理する。このオブジェクトは、[wxPrintout](#) オブジェクトに渡され、[wxPrintPreview](#) オブジェクト自身は、[wxPreviewFrame](#) オブジェクトに渡される。プレビューは、プレビューフレームの初期化と表示から始まる。[wxPrinter::Print](#) とは異なり、制御の流れは、フレームが表示された後すぐ、アプリケーションに戻る。

[plugin::pdf::PDFParser=HASH\(0x53e16c\)](#) 基本クラス

[wxObject](#)

[plugin::pdf::PDFParser=HASH\(0x53e16c\)](#) インクルードファイル

<[wx/print.h](#)>

[plugin::pdf::PDFParser=HASH\(0x53e16c\)](#) 参考

[印刷の概要](#) , [wxPrinterDC](#), [wxPrintDialog](#), [wxPrintout](#), [wxPrinter](#), [wxPreviewCanvas](#), [wxPreviewControlBar](#), [wxPreviewFrame](#).

[plugin::pdf::PDFParser=HASH\(0x53e16c\)](#) メンバ

[wxPrintPreview::wxPrintPreview](#)

[wxPrintPreview::~~wxPrintPreview](#)

[wxPrintPreview::GetCanvas](#)

[wxPrintPreview::GetCurrentPage](#)

[wxPrintPreview::GetFrame](#)

[wxPrintPreview::GetMaxPage](#)

[wxPrintPreview::GetMinPage](#)

[wxPrintPreview::GetPrintout](#)

[wxPrintPreview::GetPrintoutForPrinting](#)

[wxPrintPreview::Ok](#)

[wxPrintPreview::PaintPage](#)

[wxPrintPreview::Print](#)

[wxPrintPreview::RenderPage](#)

[wxPrintPreview::SetCanvas](#)

[wxPrintPreview::SetCurrentPage](#)

[wxPrintPreview::SetFrame](#)

[wxPrintPreview::SetPrintout](#)

[wxPrintPreview::SetZoom](#)

[wxPrintPreview::wxPrintPreview](#)

[wxPrintPreview\(wxPrintout* printout, wxPrintout* printoutForPrinting, wxPrintData* data=NULL\)](#)

コンストラクタ。printout オブジェクトと、オプションで実際の印刷の際に使用される printout オブジェクト、オプションで印刷データのアドレス（印刷プレビューオブジェクトの印刷データにコピーされる）を渡す。

printoutForPrinting が NULL でなければ、ユーザがプレビューインタフェースから直接印刷できるよう、印刷 ... ボタンがプレビューフレームに表示される。

このデストラクタが呼ばれてすぐに、printout オブジェクトを delete してはならない。なぜなら、printout オブジェクトは、[wxPrintPreview](#) コンストラクタで delete されるからである。同じことは、data 引数には適用されない。

[wxPrintPreview](#) オブジェクトが正しく作られたかどうかは、Ok メンバで調べることができる。プリンタデバイスコンテキストの初期化に問題があれば（例えば、プリンタが設定されていない）、Ok は false を返す。

wxPrintPreview::~wxPrintPreview

~wxPrinter()

デストラクタ。両方の印刷プレビューオブジェクトを delete するため、アプリケーションの中でこれらのオブジェクトを破棄してはならない。

wxPrintPreview::GetCanvas

wxPreviewCanvas* GetCanvas()

印刷プレビューイメージを表示するために使用されるプレビューウィンドウを取得する。

wxPrintPreview::GetCurrentPage

int GetCurrentPage()

現在プレビューされているページを取得する。

wxPrintPreview::GetFrame

wxFrame * GetFrame()

印刷プレビューキャンバスとコントロールバーを表示するのに使用されるフレームを取得する。

wxPrintPreview::GetMaxPage

int GetMaxPage()

最大ページ数を返す。

wxPrintPreview::GetMinPage

int GetMinPage()

最小ページ数を返す。

wxPrintPreview::GetPrintout

wxPrintout * GetPrintout()

wxPrintPreview オブジェクトに関連付けられたプレビュー printout オブジェクトを取得する。

wxPrintPreview::GetPrintoutForPrinting

wxPrintout * GetPrintoutForPrinting()

プレビューインタフェースの内部から印刷するとき使用される printout オブジェクトを取得する。なければ、NULL を返す。

wxPrintPreview::Ok

bool Ok()

wxPrintPreview が有効であれば true を返し、そうでなければ false を返す。プリンタデバイスコンテキストの初期化に問題があれば（例えば、プリンタが設定されていない） false を返す。

wxPrintPreview::PaintPage

bool PaintPage(wxPreviewCanvas *canvas, wxDC&dc)

プレビューイメージでプレビューウィンドウをリフレッシュする。プレビューウィンドウの OnPaint メンバから呼ばれなければならない。

その実装は単に、プレビュービットマップを canvas 上に blit し (?)、プレビュービットマップがなければ新しく作成する。

wxPrintPreview::Print

bool Print(bool prompt)

wxPrintPreview コンストラクタで提供された 2 個目の wxPrintout オブジェクトを使用して印刷処理を実行する。通常、プレビューフレームのコントロールバー上にある、印刷 ... パネルアイテムによって呼ばれる。

エラーの場合には、false を返す。エラーの種類について、詳細な情報を取得するためには、wxPrinter::GetLastError を呼べばよい。

wxPrintPreview::RenderPage

```
bool RenderPage(int pageNum)
```

ページを wxMemoryDC 上にレンダリングする。[wxPrintPreview](#) によって、内部的に使用される。

wxPrintPreview::SetCanvas

```
void SetCanvas(wxPreviewCanvas* window)
```

印刷プレビューイメージを表示するために使用されるウィンドウを設定する。

wxPrintPreview::SetCurrentPage

```
void SetCurrentPage(int pageNum)
```

プレビューすべき現在のページを設定する。

wxPrintPreview::SetFrame

```
void SetFrame(wxFrame *frame)
```

印刷プレビューキャンバスやコントロールバーを表示するために使用されるフレームを設定する。

wxPrintPreview::SetPrintout

```
void SetPrintout(wxPrintout *printout)
```

printout オブジェクトを [wxPrintPreview](#) オブジェクトに関連付ける。

wxPrintPreview::SetZoom

```
void SetZoom(int percent)
```

プレビューズームの比率を設定し、結果的にプレビューキャンバスをリフレッシュする。